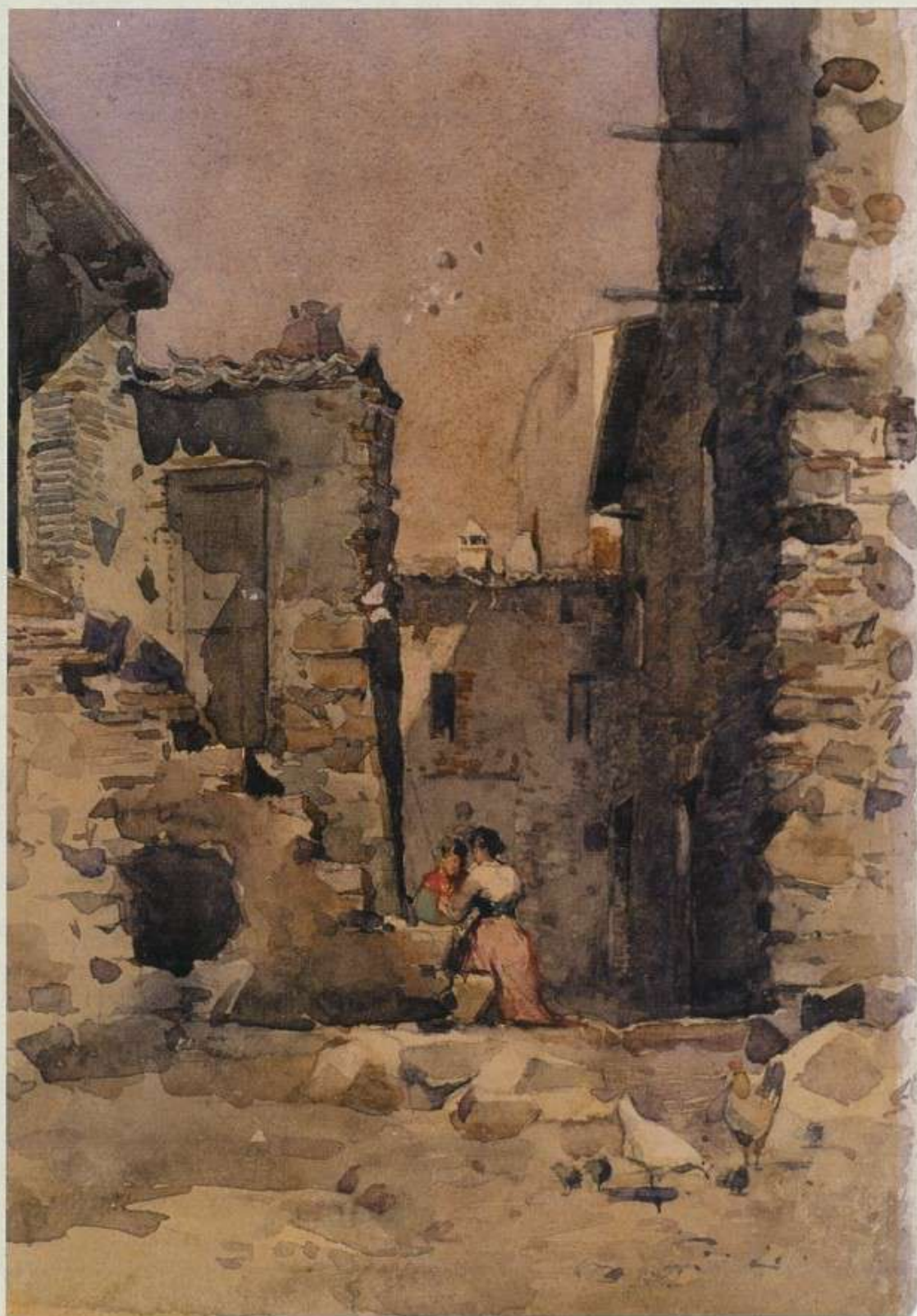


まび野

(公財)岡山県郷土文化財団

2024. 夏 第170号



松岡壽『ローマの郊外 オレーヴァノ風景』

イタリア滞在期 明治十三〜二十（一八八〇〜八七）年
水彩・紙 二五・四×一八・〇cm（岡山県立美術館蔵）

松岡壽（一八六二〜一九四四）は、岡山藩士松岡隣（一八二〇〜一八九八）の次男として岡山市に生まれました。父とともに一八七二年に上京します。画塾聴香読画館では川上冬崖（一八二七〜一八八一）に、その後日本初の官営美術学校であった工部美術学校ではイタリア人フォンタネージ（一八一八〜一八八二）に、油彩画を学びました。八〇年には、イタリア特命全権公使の鍋島直大一行に随行して、イタリアに渡ります。百武兼行（一八四二〜一八八四）とともにイタリア人マツカリ（一八四〇〜一九一九）に学び、松岡は王立ローマ美術学校を八七年に卒業しました。翌年帰国して、日本初の洋風美術団体である明治美術会の結成に参加します。

八三年に工部美術学校が廃校と

なり、九六年に東京美術学校西洋画科が開校するまでの間に、松岡はイタリアで学んで成長しました。

王立ローマ美術学校では歴史画と戦争画を研究しました。スペイン継承戦争の英雄を題材にした《ピエトロ・ミカの服装の男》（一二七号掲載）を制作しています。またローマを散策して《凱旋門》（コンスタンチヌス凱旋門、一五七号掲載）を描きました。

この作品が描かれたオレーヴァノ・ロマーノは、ローマから四十キロほど東にあり、小山の上に石造りの建物が連なります。遠足か小旅行で訪れた松岡の感慨が伝わる水彩画です。

（岡山県立美術館主任学芸員 廣瀬就久）

目次

表紙説明……………1

随想二題……………3

「星よりも清く」……………〈福井康人〉

ヒマラヤの四十年……………〈高橋伸二〉

岡山の人物……………4

大森黄谷……………〈森元純一〉

岡山の自然……………5

牛窓宿井浜の露頭……………〈江口直輝〉

岡山の文化財……………6

日本基督教団 高屋教会 教会堂……………〈首藤ゆきえ〉

わが町・わが村の自慢……………7

松神館……………〔奈義町〕

ふるさとの想い出……………8

目木橋……………（真庭市目木）

文化財団ニュース……………9

催しのご案内……………11

会員だより……………13

ご 案 内……………14

題 字……………岡山県郷土文化財団
元理事長 長野 士郎